

5階病棟は、外科・整形外科・皮膚科・感染症の患者様を受け入れています。

※主な疾患

【外科】悪性腫瘍（甲状腺・副甲状腺・咽頭・食道・胃・大腸・直腸・胆嚢・胆管・肝臓・膵臓）・肝硬変・肝炎・胆石・胆嚢炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・膵炎・大腸ポリープ・虫垂炎・イレウスなど

【整形外科】骨折（主に大腿骨頸部骨折・腰椎圧迫骨折）、骨・軟部腫瘍、脊椎脊髄病変(脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア等)、靭帯損傷、腱断裂、神経損傷、四肢切断、骨髄炎、関節リウマチ、変形性膝関節症、肩関節周囲炎など

【皮膚科】帯状疱疹、蜂窩織炎、天疱瘡、眼瞼下垂、軟部腫瘍、壊疽、褥瘡など

患者・家族がより満足できる看護の提供と看護師自身が達成感を実感できる病棟づくりが目標です。



何を学ぶことができるか？



外科では手術療法をはじめ、化学療法・緩和ケア・ストーマケア等幅広い看護を学ぶことができます。整形外科の回復期ではリハビリスタッフと情報共有を図り、QOLの向上を目指します。皮膚科では医師や認定看護師と連携して処置を継続しています。

教育に関する取り組み

病棟全体で新人看護師を育てる環境づくりを心掛けています。各診療科の医師や認定看護師による勉強会を行うことで、より深い知識の習得やケアの質の向上を目指しています。

今後は看護師自身の自己学習の充実と院外研修への参加の推進を行うことで、専門的知識と技術の習得と看護実践能力の向上に努めたいと思います。



副師長よりひとこと



5階病棟は一般外科、整形外科、皮膚科と主に手術を要する患者様が多く入院されています。周手術期看護を学ぶことは勿論ですが、ターミナル期にある患者様の緩和ケア、急性期治療を終えた患者様の自宅・施設退院に向けての退院調整など急性期混合病棟であるからこそ学ぶことがたくさんあります。看護展開も早くそのため大変さも勿論あると思います。忙しさの中にも楽しさがあり、責任感のある立派な看護師になってもらいたいと思っています。